

JCN03WH (CR) JCN04WH (CR)

■器具の取り付け工事には電気工事士の資格が必要です。(施工は必ず電気工事店(有資格者)に依頼してください。)

施工説明

工事店様へ・・・この取扱説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 取付工事は「取り付けかた」にしたがい確実に行ってください。
取付工事に不備がありますと、火災・感電・落下の原因となります。
- 天井取り付け専用吊具です。傾斜天井・壁への取り付けはしないでください。落下の原因となります。
- 適合器具以外では使用しないでください。(器具の取扱説明書または、カタログにてお確かめください。)
落下の原因となります。
- 2本吊専用ですので1本吊りはしないでください。落下の原因となります。
- 吊具を改造しないでください。落下の原因となります。
- 開放廊下など、風が強くなるところでは使用しないでください。落下の原因となります。

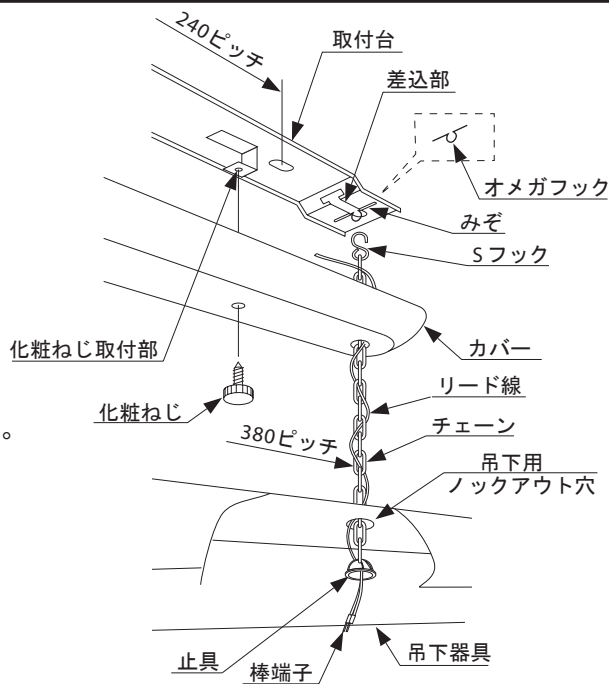
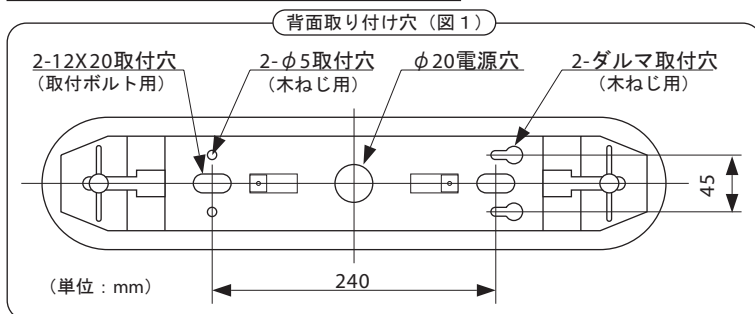
注意

- この吊具は屋内専用です。湿気が多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所、風が直接あたる場所では使用しないでください。落下の原因となります。

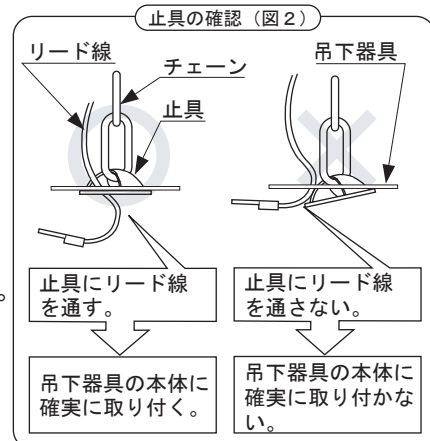
各部の名前と取り付けかた

図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です。

JCN03WH (CR) の場合

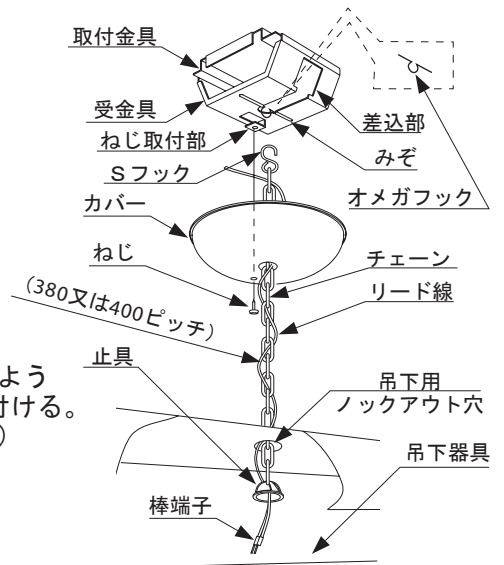
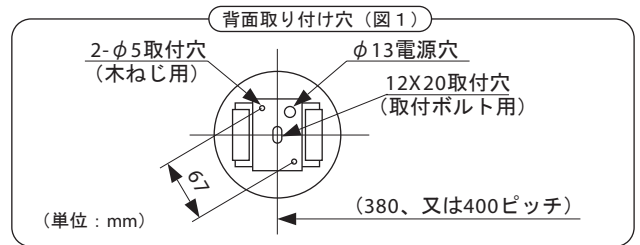


- 1、取り付け前の確認。
吊下器具の質量に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
取り付けに不備がありますと落下の原因となります。
- 2、取付台を取り付ける。
(1) 電源線、アース線を取付台の電源穴から引き込む。
(2) 背面取り付け穴 (図1) を利用し、取付台をボルト、または木ねじで、天井に確実に取り付け。
取り付けに不備がありますと落下の原因となります。
- 3、リード線を端子台に接続する。
付属のリード線を吊下器具側の端子台に接続する。
(接続の詳細は、吊下器具側の取扱説明書をご覧ください。)
- 4、チェーンの取り付け。
(1) 吊下器具にある、380mm間隔の吊下用ノックアウト穴を打ち抜き、チェーンをSフック側から通す。
(2) 一方の止具に付属のリード線を通し (図2)、チェーンに這わせる。
(3) チェーンにカバーを通す。
取り付けに不備がありますと落下の原因となります。
- 5、チェーンを取付台に取り付ける。
(1) 取付台の差込部からオメガフックを挿入し、取付台に直角になるようにして、みぞに取り付け、Sフックをオメガフックに確実に取り付け。
(2) 止具が吊下器具に確実に引っ掛けられているか確認する。(図2)
- 6、電源線を接続する。
電源線とリード線を、絶縁処理を確実に施して接続する。
絶縁・接続に不備がありますと火災・感電の原因となります。
- 7、カバーを取り付ける。
カバーを押し上げ、天井に密着させるよう、化粧ねじで取付台に確実に取り付け。

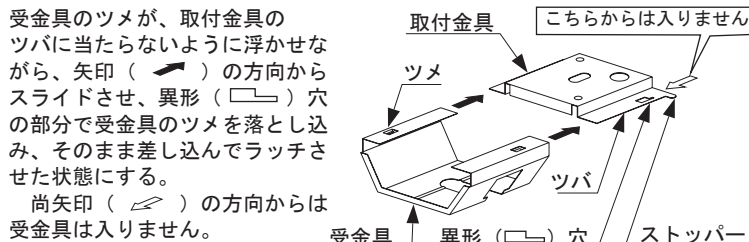


JCN04WH (CR) の場合

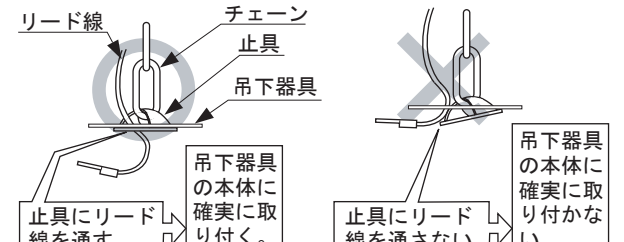
- 1、取り付け前の確認。
吊下器具の質量に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
取り付けに不備がありますと落下の原因となります。
- 2、取付金具・受金具を取り付ける。
(1) 電源線、アース線を取付金具の電源穴から引き込む。
(2) 背面取り付け穴 (図1) を利用し、取付金具をボルト、または木ねじで、天井に確実に取り付ける。
(3) 受金具を取付金具に取り付ける。(図2)
取り付けに不備がありますと落下の原因となります。
- 3、リード線を端子台に接続する。
付属のリード線を吊下器具側の端子台に接続する。
(接続の詳細は、吊下器具側の取扱説明書をご覧ください。)
- 4、チェーンの取り付け。
(1) 吊下器具にある、380mm、又は400mm間隔の吊下用ノックアウト穴を打ち抜き、チェーンをSフック側から通す。
(2) 一方の止具に付属のリード線を通し (図3) チェーンに這わせる。
(3) チェーンにカバーを通す。
取り付けに不備がありますと落下の原因となります。
- 5、チェーンを受金具に取り付ける。
(1) 受金具の差込部からオメガフックを挿入し、受金具に直角になるようにして、みぞに取り付け、Sフックをオメガフックに確実に取り付ける。
(2) 止具が吊下器具に確実に引っ掛けられているか確認する。(図3)
- 6、電源線を接続する。
電源線とリード線を、絶縁処理を確実に施して接続する。
絶縁・接続に不備がありますと火災・感電の原因となります。
- 7、カバーを取り付ける。
カバーを押し上げ、天井に密着させるよう、ねじで受金具に確実に取り付ける。



受金具の取り付けかた (図2)



止具の確認 (図3)



取扱説明

お客様へ・・・この取扱説明書は必ず保管してください。

- このたびは日立照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

安全に関するご注意



警告

- 吊具を改造しないでください。落下の原因となります。



注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
■3～5年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。

お手入れ・ランプ交換



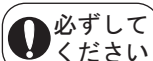
必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。

- 汚れが目立ちはじめましたら、きれいな布に石けん水を浸してよくしぼったのちふきとってください。



禁止

みがき粉・ベンジンなどでふいたり殺虫剤をかけないでください。
また器具の水及び洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。傷つき、変形、変色、サビの原因となります。(化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書にしたがってください。)



必ずしてください

ランプ交換時に、チェーン取付部など、外観の保守点検を行ってください。

アフターサービス・・・ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。